

平成25年度第2回地域ネットワーク部会議事要旨

日 時 : 平成25年7月3日(水) 18:30~19:30
場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
構成員 : 8名
出席者 : 6名
宮里 浩(那覇市立病院)、照屋 淳(北部医師会病院)、八幡 浩信(中部病院)、
鈴木 英章(八重山病院)、増田 昌人(琉大病院)、仲本 奈々(琉大病院)
欠席者 : 川満 博昭(県立宮古病院)、佐村 博範(琉大病院)
陪席者 : 呉屋 葉子(琉大病院)

[報告事項]

1. 平成25年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

⇒平成25年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について承認された。

2. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

⇒7月2日現在のがん地域連携クリティカルパスの適用件数について、琉大が12件、那覇市立病院が131件、県立中部病院が4件で合計147件と報告があった。

また、がん種別では乳がんが一番多く、次いで大腸がんと胃がんであることが報告された。

[審議事項]

1. がん地域連携パス普及の為の方策について

⇒パスが普及しない理由のひとつに、専門医側でパスの記入や説明などに手間にかかることがあげられた。そこで、パスの記入などの事務的な処理はドクターエイドに任せて、医師は患者への説明と書類のチェックだけにするような体制を働きかけてはどうかと意見があり、次回の沖縄県がん診療連携協議会幹事会に提案することとなった。

2. がん地域連携パス研修会の企画開催について

⇒医師会に研修会の後援になって頂き、今後、研修会受講を単位制にするよう推進していくこととなった。

3. 大腸がん化学療法パスの作成について

⇒大腸がん化学療法パスの作成について、専門施設で化学療法の治療中または終了した患者を対象に、日常の体調管理やフォローアップ、化学療法の内服のみをかかりつけ医側が行うパスを作成してはどうかと意見があり、事務局でモデルケースがあるか確認することとなった。

4. 次回の開催について

⇒次回の部会は、10月9日(水)を予定しているが、部会前のがん地域連携パス研修会を開催することになったら、臨時の会議を設けることとなった。